

第34回地方公務員共済資金運用委員会議事要旨

1. 日 時：令和4年6月28日（火） 10:00～10:50
2. 場 所：地方公務員共済組合連合会 特別会議室
3. 出席委員：
 - ・若杉座長 ・川北委員 ・喜多委員 ・佐藤委員 ・芹田委員
 - ・竹原委員 ・徳島委員 ・野村委員 ・森本委員
4. 議 事
 - (1) 令和3年度各積立金の管理及び運用に関する業務概況書（地共済）
 - (2) 令和3年度各積立金のリスク管理の状況（地共済）
 - (3) 退職等年金給付積立金の基本ポートフォリオの検証について

〈議事の概要〉

- ・事務局から上記議題について資料の説明が行われた。
- ・その後、意見交換及び質疑応答が行われた。

- (1) 令和3年度各積立金の管理及び運用に関する業務概況書（地共済）
 - 今回、少しアクティブの運用が厳しかったと伺っているが、外国株式のアクティブ・パッシブ比率について、アクティブのウェイトをどのように決めていて、その修正を検討されていることはあるのか。
 - 各共済組合で独自のリバランスルールを持っていると思うが、リバランスのタイミングなど、地共連から見て、若干違和感、例えば遅いところ、早いところ、などといった傾向があるようなら教えていただきたい。
 - TCFDへの賛同について、2021年には何か所かで似たような取組をしているが、全体として、そういったESGに関連した取組が進んでいく何か具体的な背景等があるのか。

(2) 令和3年度各積立金のリスク管理の状況（地共済）

- 投資の収益の観点からいくと、中国は十分収益機会があると思うが、地政学的リスクが大分高まってきている。

新興国株式ではアジアの割合が多く、特に中国の影響を受けている状況を踏まえ、株の中でパッシブよりも選別的に銘柄を選ぶようなアクティブのほうがいいという議論も出ていることから、先進国、新興国という区分で株式と債券の保有状況を見ていくということは、今後役に立つと思う。

- 地職では評価損益がゼロになり、短期資産だけ、地共連から資金を供給されており、ポートフォリオが維持できるような残高がなくなってきたと理解しているが、他組合の厚生年金や旧3階で、将来的に積立金が不足する可能性がないか確認したい。

(3) 退職等年金給付積立金の基本ポートフォリオの検証について

- 今後の金融政策の大きな転換やインフレによる金利リスクの上昇に関して、金利リスクが相当大きな拡大をしているという状況の下で、基準利率の設定のルールを修正する必要はないのかということを含めて、どのように考えているのか。

以上